

## 地域密着型金融の取組事例について

 タイトル 担い手応援営農資金の提供 JA名 JAたじま (兵庫県)

1 動機 (経緯)	JAたじまの担い手支援対策の一環として、資金供給面でのサポートを行う目的で平成20年度から取扱を開始した低利融資制度です。 農業資材の価格高騰等を受け、担い手農業者・認定農業者・米出荷農家等の営農を支援するため、営農資金店頭金利から最大 1.00% (注) の金利軽減を行っています。  (注) 最大 1.00%の軽減幅については、金利情勢によって毎月変動
2 概要	名称：JAたじま 担い手応援営農資金 貸出対象者：正組合員である個人 農業を営む組合員である法人、正組合員が主たる構成員である団体 ＊ 金利軽減の対象者 個人—各種生産部会員もしくはJAたじまに産米出荷を概ね100袋以上されている方 法人・団体—集落営農組合等の法人・団体 資金使途：農業用機械器具の取得・設備の導入・農業用資材購入・農用地の取得ならびに改良・造成・その他農業経営上必要な資金等幅広い資金需要に対応。 融資限度額：個人5千万円以内・団体1億円以内(平成24年度取扱限度額3億円) 融資期間：15年以内(資金使途により異なる) 金 利：固定金利
3 成果 (効果)	利用者からは「低利で資金調達出来る」等好評をいただいているほか、融資担当者・営農(TAC)職員・農機センター職員共同の研修・意見交換会が問う資金の農家への浸透に効果的であったことから、今後のJA内事業間連携の取組に繋がりたいと考えています。
4 今後の 予定(課題)	担い手農業者等の訪問について、営農部門職員(TAC)や支店融資担当職員による定期訪問を実施し、財務状況や資金ニーズを肌で感じ取ることにより、JAとしてタイムリーな資金対応を打ち出すことの出来る取組みを強化していくことが今後の課題として考えています。